

【地方中核都市救急外来を受診する外国人患者の臨床的特徴】

研究の概要：

当院の救急外来の外国人救急診療における、患者の臨床的特徴を評価して、訪日・在日による違いが疾病特性あるいは患者転帰に与える影響を検討することを目的としています。

研究対象：

2018年4月1日から2020年3月31日までに、相澤病院救命救急センター救急科にて診療を行った、外国籍の患者さんの診療録を対象とします。

研究の意義：

我が国における外国人救急診療と非日本語診療の実態に関する報告は多くないため、当院での診療成績を検討し、患者特性と転帰の関係を明らかにすることは、臨床上の判断に有用であると考えられます。

研究の目的：

本研究は、救命救急センター救急科で診療を行った外国籍患者さんについて検討し、在留ビザを取得した滞在3ヶ月以上の中長期滞在者（在日）と3ヶ月未満の短期滞在者（訪日）の間における、受診後の状態（救急外来滞在時間や入院、再診率など）の違いについて検証することを目的としています。

研究の方法および内容：

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報（患者背景、臨床経過、手術所見、術後経過）を収集し、統計学的な解析を行います。情報収集の作業に当たっては担当者がこれを行います。

個人情報に関する配慮：

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究責任者：

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 救命救急センター救急科・青木義紘

TEL 0263-33-8600 / FAX 0263-32-6763